

南会津 のうりんニュース



今月の写真：樹氷(下郷町)

「今年の冬は雪が少ない!!」そんな声がチラホラ聞こえてきます。これも温暖化??…とはいっても、朝の寒さはしっかりと例年どおり。川辺の木々は氷の衣をまとい、冬場のカラッととした青い空に映える霧氷は、美しさとともに会津の冬の厳しさも感じさせます。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ 集落営農推進大会が盛大に開催される!!
 - ・ 食品表示早わかり講座を開催しました。
 - ・ 医食同源は地産地消から!!
 - ・ 有機米(コシヒカリ)を知ってもらおう!!
 - ～有機農産物PR事業～
 - ・ 只見でのご講習会開催
- コラム
 - ・ 科学的根拠のない天候予測その3
 - ～平成21年丑年の天候は?～
- 特集
 - ・ ～人と環境にやさしい木材の利用～
- 豆知識!
 - ・ 老朽化水路の補修事例

平成21年2月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

集落営農推進大会が 盛大に開催される!!



<南会津地域集落営農推進大会>

南会津地域では、現在28集落が集落営農に取り組んでおり、取り組みが徐々に拡大してきたことから、去る1月22日、南会津町「御蔵入交流館」において、～みんなの創意と工夫で、南会津農業を元気にしよう!～のスローガンの下、「平成20年度南会津地域集落営農推進大会」(南会津地域集落営農推進協議会等主催)を開催しました。

農業者など約140名の参加があり、午前の部で、大豆渡集落が「大豆渡集落の取り組みについて」、和泉田集落が「集落の農地を次代に繋ぐために」、南倉沢集落が「集落みんなで取り組む新しい農業への挑戦」、梁取集落が「美しいふるさとを後世に引き継ぐために」

と題し、各集落の取り組み事例が紹介されました。また、午後の部では、2年前にも講演をいただいた元山形大学教授の楠本雅弘先生から「集落が元気になる地域営農の仕組みづくり」についての講演がありました。この中で、今の南会津地域は、組織的担い手等が農地の集積により大規模経営を実現し、法人化も見据えて取り組んでいることや、加工・直売等に取り組む女性パワーが各集落で見られるなど、2年前に比べ大いに進んでおり、今後ますます楽しみな地域であるとのお話がありました。最後に、JA会津みなみの小山徹氏の発声の下、集落営農の推進をベースとした3項目からなる大会宣言を声高らかに唱和のうえ採択し、盛会の裏に終了しました。

当地域初の開催となったこの大会は、参加者の理解を一層深め、大会宣言の唱和により一体感も生まれ、今後の取り組みへの力強さを感じられるものとなりました。
(農業振興普及部)

食品表示早わかり講座を開催しました

農林事務所では南会津保健所と共催で、12月～1月に管内3カ所で「食品表示早わかり講座」を開催しました。農産物直売所関係者や農産物加工・販売者、食品製造・販売者などを中心に、第1回の只見及び第2回の南郷では約40名、また第3回の田島では約70名と多数の方が受講し、食品表示に関する理解を深めようという意欲とともに、食の安全・安心に対する関心の高さが感じられました。

講座では、農林事務所の担当者から「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律(JAS法)」を中心に、様々な法律で規定されている食品表示の

(2ページに続く)

(1ページから続く)

制度や方法等について説明しました。受講者からは「複雑で難しい」という声が多かったものの、「分かりやすく勉強になった」という声も聞かれました。また、保健所の担当者からは、食品営業許可の必要な営業と許可取得手続きについても説明があり、有意義な講座であったようです。なお、食品表示の問い合わせ先は農林事務所企画部、保健所生活衛生部等です。正しい知識で間違いのない表示をしましょう。(企画部)



清聴する受講者

医食同源は地産地消から!!

みんなで外へくり出しちゃおう♪小川のみなさんは今日も元気一杯です。

「ふれあいいきいきサロン小川」は、出歩く範囲が狭くなりがちな地域の75歳以上の高齢者や、65歳以上の一人暮らし高齢者を対象にして、只見町小川多目的集会場で開催しています。会は毎月21日に決まって行われ、季節毎の催しを行います。12月には、前月に作ったしめ縄を利用して、クリスマスのリースづくりにチャレンジしました。「しめ縄でリースだって?!」そんな声が聞こえてくるかも知れませんが、作ってみると実に見事な出来映え!!参加者はリースの輪に思い思いの草花やリボンを飾り、世界に1つしかない自慢の作品を作っていました。

また、普段の運動不足を解消するために行う体操では、会の役員さんが中心となって音頭を取ります。時々拍子を変えて行う体操は、意外と難しいですが、みなさん楽しく汗をかいていました。午後に行われる日本舞踊やカラオケ、囲碁等の趣味の時間も、みんなの活力源となっているようです。

そして、待ちに待った昼ご飯は、地元の食材をふんだんに使った地場料理!!この日は、納豆やきな粉などの各種お餅や、冬至カボチャ、山菜炒め、クルミのミルクソース等只見の美味しさが詰まった料理が並びました。お肉以外は全て只見産というこだわりも、食の安全や地産地消を大事に守ろうとの考えがあったからです。遠くへ遠くへと、良い物を探しがちな現代ですが、本当に良い物は、すぐ近くにあったのかも知れません。



地場産品の美味しいおもち♪

家を建てるには、その地域の木が最も適しているとは言いますが、それは人間にも言えることでしょう。地の物を地の料理で!医食同源はここにあり!!

(企画部)

有機米(コシヒカリ)を知ってもらおう!!

～有機農産物PR事業～

只見町では、中野大徳^{たかの}さんが、有機米(コシヒカリ)を生産しており、平成20年10月に「有機JAS」の認証を取得されました。

『地元で有機農産物を生産されている方を地元のみなさんに知っていただく!』ということから、地産地消の点からも活発な活動をされている「只見町生活改善推進員会(横山咲子会長)」の皆さんと各町担当者の方々にも参加いただき、有機米に取り組んだ経緯や除草などの苦労した点や慣行栽培との違いなどのお話を聞く研修会と、有機米の試食を行いました。

研修会は、有機米を生産する過程の写真等を盛り込んだ資料を使い、時折、中野さんのユーモアのあるお話を織り交ぜながら、終始和やかな雰囲気で行われました。

今後は、管内全体に広く知っていただけるよう研修会等を実施していきますので、その際は、是非ご参加ください!
(農業振興普及部)

只見町できのご講習会開催

1月28日、只見町の朝日地区センターにおいて、町主催による「きのご講習会」が開催され、53名が参加しました。この講習会は、きのご栽培に関心がある住民の要望を受け、町が企画したものです。

はじめに、県きのご振興センター職員から、高齢者でも比較的手軽に取り組むことができる、きのこの自然栽培の方法やそのメリット、加工も含めた生産物の



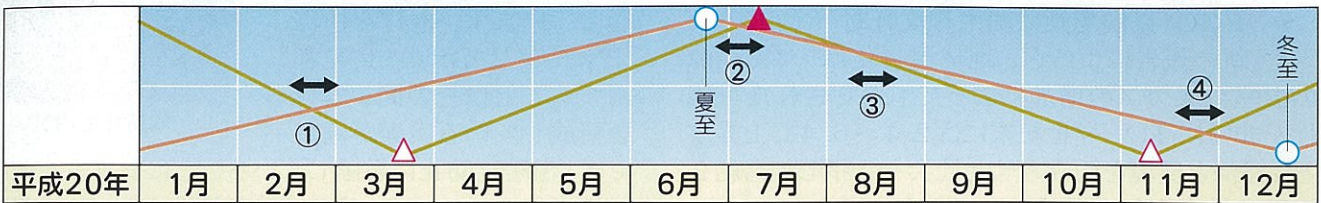
きのご講習会の様子

の販売方法等について県内の事例を交えながら説明が行われました。その後、当事務所から、南会津管内で始まっている地域やグループによるきのご栽培の取組事例とその特徴について紹介しました。参加者からは栽培技術に関する質問のほか、地域一体となってきのご栽培に取り組む必要性について積極的な意見が出されました。

近年、食の安全・安心、国産農産物への関心が高まるなか、肥料・農薬を一切使わないでできるきのご栽培の取り組みが県内各地で始まっています。以前から天然きのこの宝庫であった南会津において、地域ブランド力を活かしたきのごで元気な地域づくりを推進していきたいと思えます。

(森林林業部)

1.金星周期からみた昨年の気象(筆者作成のため、近日点、遠日点に多少誤差の可能性あり)



この表は、夏至と冬至を—線で結び、金星が地球に近づく近日点を▲、遠ざかる遠日点を△印として—線で結び示してあります。

この、夏至と冬至を結ぶ線と、金星の近日点と遠日点を結ぶ線が交差する付近(上表①～④)では天候が不順(荒れる)傾向があるらしいという説がありますので考察してみました。

①第1回目:2月下旬の頃「春間近の大雪」

2月23日から29日の間に、田島78cmの積雪で今期最深積雪を記録。只見103cmの積雪で同じく今期最深積雪が2月23日の232cmとなった。

②第2回目:7月上旬の頃「大雨と日照不足」

6日～12日の7日間で田島65mm、只見155mmの大雨となり、日照時間も6日～12日の7日間

合計で14～15時間程度と少なかった。

③第3回目:8月中・下旬の頃「大雨と日照不足」

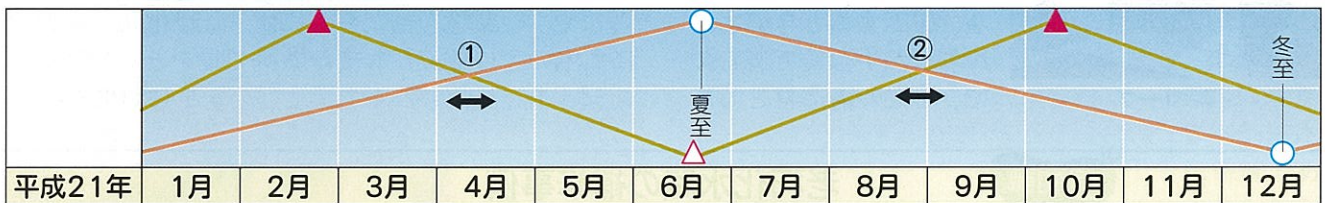
15日～30日の16日間で田島191mm、只見202mmの大雨となり、日照時間も同様に合計で田島34時間程度(1日平均2時間強)、只見44時間程度(1日平均3時間弱)と少なかった。

④第4回目:11月下旬頃「早めの積雪」

19日～25日までの降雪量が田島17cm、南郷60cm、只見は欠測ありですが70cm程度か、この時期の降雪について交差の影響とみるのは、多少こじつけに近いかもしれません。

2.さて、平成21年はどうなる??

(1)今年の金星の動き(筆者作成のため、近日点、遠日点に多少誤差の可能性あり)



*夏至と冬至を結ぶ線は、—線、及び、○印、金星の動きを結ぶ線は、—線で、▲が近日点、△が遠日点を示す

(2)金星周期、年回りを考慮した予測 ～当たるも八卦当たらぬも八卦～

①4月10日前後に交差線があることから4月上中旬に晩霜、強風、冷雨等不順の可能性あり、しかし旧暦でこの時期は3月中旬の春であることから大荒れではないのかもしれませんが。

②8月下旬の交差線については、台風や日照不足等不順の可能性あり、新暦の8月20日が旧暦の7月朔にあたり、例年の梅雨明けが旧暦の6月末から7月初旬に多いことを考慮すれば「だらだら長梅雨」の可能性も否定できません。

③2月下旬の近日点付近では、寒気団の動きに注意が必要です。今冬の気温は寒暖の差が大きく、雪はとりたてて多い年にはならない可能性が高いように思われます。

④6月中下旬に遠日点となり、その時期が旧暦2度目の5月朔になることから、6月中旬付近の天候が低温や日照不足など不順となる可能性があると思われま。

⑤10月上中旬に再び近日点となることから、天気は周期的に変化し、秋はそれほど悪い気象にはな

らないのではないかと思います。

⑥丑年は昭和31年以降に4回、作況はS36=107、S48=103、S60=111、H9=104と豊作の年でした、これまでの実績から多少の不順天候でも最終的に平年作は期待できるのかもしれませんが。

⑦今年旧暦で5月が2回ある年回りで、昭和31年以降5月閏があった年は3回、作況はS46=92、H2=106、H10=94で、2回が作況100を下回っています。その面からは要注意かもしれません。

⑧以上を整理すれば今年のポイントは、5月から7月中旬の天候で、その時期が暖かく経過すれば平年作以上が期待できそうな気配ですが、低温、日照不足などが続けばちょっと危ないのかもしれませんが。いずれにしても農作物の管理は万全の姿勢で望むことが重要です。

農業振興普及部長 小山 喜男

～人と環境にやさしい木材の利用～

I PCC(気候変動に関する政府間パネル)の最新の報告によると、地球温暖化は「人為起源の温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性が非常に高い。今世紀末には2.4～6.4℃上昇する。経済と環境を両立させた社会を目指しても約2℃は上昇する。」と断言しています。

寒い南会津郡において温暖化はある意味歓迎されるかも知れませんが、そこに付随するゲリラ豪雨、台風の大型化や水不足などの気象現象が気になります。

さて、県では、数年前から「ペレットストーブ」の利用を推進しています。製材工場の端材の有効活用や化石燃料の利用削減に繋がるからです。

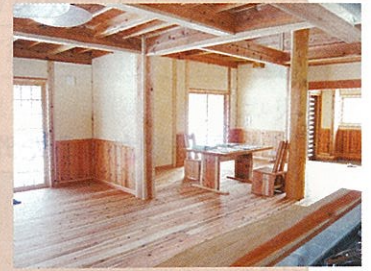
温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)はペレットストーブや薪ストーブのように木材を燃料とするストーブでも排出されます。しかし、木材は成長する段階でCO₂を吸収し酸素を放出することから、循環できる資源とされています。



薪ストーブ

また、木材は鉄などに比べ軽い割に強度があり、加工するときのエネルギーが少なく済むので、住宅の構造材として

適しています。木材を住宅や家具として沢山・長く利用することはその間、木材を構成している炭素が固定でき、温暖化防止に貢献していることとなります。最近、インフルエンザの感染が懸念されています。文部科学省が全国数百校の小学校を対象にアンケート調査を実施しました。内容はRC(鉄筋コンクリート)構造の校舎で内装に木材を使った教室、使わなかった教室でのインフルエンザによる学級閉鎖の割合です。内装に木材を使った教室の学級閉鎖の割合は使わなかった教室の約半分となりました。幼稚園の事例では、木材の床と木材以外の床での園児の行動を観察しました。「立ち姿勢」、「座り姿勢」と「寝ころび姿勢」の3パターンの回数をカウントしました。すると木材の床では、「立ち」、「座り」や「寝ころび」がほぼ均等に見られるのに対し、木材以外の床は「座り」が少なくなり、「寝ころび」は殆ど無くなりました。このように木材は、見た目の温かさ、手触り、湿度の調整や香りなど人間にとって暮らしやすい環境をもたらします。温暖化防止のためにも木の家に住み、木質の燃料で暖をとる生活をエンジョイしたいものです。(森林林業部)



木造住宅内装

豆知識

老朽化水路の補修事例

ため池等整備事業(用排水施設整備)音金地区(下郷町音金地内)において、老朽化したコンクリート水路の補修更生工法として、既存構造物を利用したシート貼付工法を実施したので紹介します。

老朽化した水路補修にはいくつかの工法があります。今回これらの工法選定にあたり、耐久性・施工性・



施工前

工期の制約・経済性・現場条件を考慮し検討した結果、シート貼付工法を採用しました。今回の施工は旧構造物を高圧洗浄し、磨り減った面を修復、表面を乾燥させ接着剤を塗り、FRP(強化プラスチック)製の

厚さ1mm程度のシートを張り付け、紫外線を当て硬化させ、更に表面を塗装してシートの劣化防止を図り、水の流れを良くし更に水路を長持ちさせる方法です。

現代、もったいない運動が取り立たされるなか、多くの農業用水路が更新時期を迎えることから、こういった補修・更生の技術が進歩し、同工事が増えてくると思われます。

古くなった用排水路や流雪溝等の補修に最適ですので参考にしてみてはどうですか。

(農村整備部)



施工後

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

バックナンバーはこちらから



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。